

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
日本史 (Japanese History)	担当教員	有馬 純之 (Arima, Sumiyuki)	
	教員室	学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)	
	E-Mail		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (50分)] × 30回		
[本科目の目標] 歴史学習を通して、先人の業績を正しく評価し、いま自分がどこに位置し、何をなすべきかを考える。日本人として、わが国の歴史に対する的確な視座と誇りを持ち、バランスのとれた国際感覚を身につける。			
[本科目の位置付け] 世界史および地理の予備知識が必要である。また、本科目は社会概説I (現代史) との関連がある。			
[学習上の留意点] 教科書の配列どおり学習することを基本としながらも、本科目の目標をふまえ、テーマを精選する。時事問題も適宜扱っていくため、配布する資料等を有効に利用する。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 古代国家の形成 (1)	2	<input type="checkbox"/> 更新世の日本・縄文文化について理解することができる。	それぞれの授業項目に対応する教科書の該当箇所を読み、その概要を把握しておくこと。
2. 古代国家の形成 (2)	2	<input type="checkbox"/> 弥生文化と小国家の形成、大和政権と古墳文化について理解することができる。	
3. 古代国家の形成 (3)	4	<input type="checkbox"/> 推古朝・奈良時代・平安初期の政治、飛鳥・白鳳・天平・平安初期の各文化について理解することができる。	
--- 前学期中間試験 ---		授業項目1~3について達成度を確認する。	
4. 古代国家の形成 (4)	2	<input type="checkbox"/> 貴族文化と摂関政治・国風文化、荘園と武士団の成長・院政と平氏の台頭について理解することができる。	
5. 武家社会の形成 (1)	2	<input type="checkbox"/> 鎌倉幕府の成立・執権政治の展開、元寇と御家人社会の変質・鎌倉文化、室町幕府の成立・倭寇と東アジアの交易について理解することができる。	
6. 武家社会の形成 (2)	2	<input type="checkbox"/> 下剋上の社会と戦国大名・室町文化について理解することができる。	
--- 前学期末試験 --- 試験答案の返却・解説	1	授業項目4~6について達成度を確認する。 試験において誤った箇所を理解できる。	
7. 近世社会の形成 (1)	4	<input type="checkbox"/> ヨーロッパ人の渡来、織豊政権と桃山文化について理解することができる。	
8. 近世社会の形成 (2)	4	<input type="checkbox"/> 江戸幕府と諸藩、身分制度の確立・鎖国、幕府政治の進展・経済と産業の発達について理解することができる。	
--- 後学期中間試験 ---		授業項目7, 8について達成度を確認する。	
9. 近世社会の形成 (3)	2	<input type="checkbox"/> 学問の興隆と元禄文化、幕藩体制の動揺と対外問題の発生について理解することができる。	
10. 近世社会の形成 (4)	2	<input type="checkbox"/> 新しい学問の形成と化政文化について理解することができる。	
11. 現代の世界と日本	2	<input type="checkbox"/> 激変する世界と日本・現在の日本と世界について理解することができる。	
--- 後学期末試験 --- 試験答案の返却・解説	1	授業項目9~11について達成度を確認する。 試験において誤った部分を理解できる。	
[教科書] 新選日本史B (東京書籍)			
[参考書・補助教材] 新選図説世界史 (東京書籍)			
[成績評価の基準] 期末試験成績 (70%) + レポート (30%) - 授業態度			
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 1-a, 4-b			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]			
[JABEEとの関連]			

Memo